

## 福岡県高等学校サッカー大会新型コロナウイルス感染対策

福岡県高体連サッカー専門部

### (1) 感染の予防

日常生活、チーム活動、大会運営、試合観戦などの各場面において①～⑩を継続する

- ① 基本的な予防行動
- ② 感染予防の習慣化
- ③ リスク行動を減らすこと
- ④ マスクの着用については、以下のマスクルールに則る  
※3/13以降は、各個人のマスクの着用は個人の判断に委ね、政府の方針に従うことを基本とする
  - ・ マスクなしの場合…距離（2 m目安）をとるか、会話を制限
  - ・ 距離なしの場合（2 m未満目安）…マスクをつけるか、会話を制限
  - ・ 会話ありの場合…マスクをつけるか、距離を制限
  - ・ 換気の悪い場所…複数人数の利用時はマスクを着用※「距離あり」とは「2 m以上空ける」ことを指します  
※濃厚接触疑い基準に準拠しています  
[厚生労働省HPを参照]  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kansentaisaku\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kansentaisaku_00001.html)
- ⑤ 咳エチケットに十分配慮する
- ⑥ 手洗い、手指消毒をこまめに行う
- ⑦ 3密（密閉、密集、密接）を避ける
  - ・ 飛沫拡散リスクの回避（プレー中の選手を除き、発声する場面では、発声する者のマスク着用（不織布マスクを推奨）、または発声中は2 m以上を目安に距離を空けることを求める
- ⑧ タオル、飲料ボトルなどの共用はしない
- ⑨ 健康チェックシートの記録・管理（様式任意、各チーム保管とする）
  - ・ 平熱を超える発熱
  - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪症状
  - ・ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
- ⑩ その他 J F A、主管 F A が示す注意事項を遵守する

【参考：J F A サッカー活動の再開に向けたガイドライン 第12版 2023/3】

### (2) 部員・部顧問（外部指導者を含む）の感染が判明した場合等

大会への参加については、国や県が示す「感染者の療養解除および濃厚接触者の健康観察期間」の基準を満たし、かつ学校長が許可をした場合は認める

### (3) 感染状況によっては、別途新たな対策を講じることがある

(4) 令和5年5月以降、新たな指針が出た場合は、それに基づいた対応等を各チームに連絡・指示する。